

## 国体で入賞しました



写真前列右から優勝した小泉維吹さん・颯作さん、3位入賞した古崎智也さん。

11月14日、おいでませ！山口国体で入賞された町出身の選手が椎木町長へ入賞報告を行いました。報告したのは、セーリング競技少年男子セーリングスピリッツ級で優勝した久賀出身の小泉颯作さんと小泉維吹さん。ラグビーフットボール競技成年男子で3位に入賞した小松開作出身の古崎智也さんの3名。

小泉さんは兄弟で国体に出場し、兄の颯作さんは「練習から帰って家で、自分の経験などを、弟にアドバイスしたのがよい結果につながりました。」と話され、古崎さんは「優勝を狙えるチームだったので、3位になって悔しいです。」と町長へ報告しました。

## 時計台・自動血圧計を寄贈



▲記念式典において岡島齊大会委員長から椎木町長へ目録が手渡されました。



▲時計台



▲自動血圧計

11月6日、東和総合センターで開催された、大島オレシジャイオンズクラブ40周年記念式典において、大島オレシジャイオンズクラブから時計台と自動血圧計2台が町へ寄贈されました。時計台は総合体育館の国道沿いに設置し、自動血圧計は橘総合支所および橘総合センターに設置しています。

## 日本民具学会全国大会



## 母校 東和中で講演

▲液晶テレビの仕組みについて説明する鳴重さん。

11月4日、電機メーカーで液晶テレビの開発に長年にわたり従事された、東和（長崎）出身の鳴重泰さんが、母校の東和中学校で、『夢の液晶ディスプレイ開発への挑戦』と題し講演を行いました。

鳴重さんは、液晶テレビの開発を通して、物作りの素晴らしさを話され、生徒には「自分がやりたいことを見つけ、夢を実現してほしい。」と、メッセージを送りました。

日本民具学会第36回全国大会が10月29日、30日の二日間にわたって東和総合センターで開催されました。日本民具学会は町出身の民俗学者・宮本常一先生が創立に深く関わった学会です。29日の「宮本常一没後30年公開シンポジウム」では「宮本常一写真による生活文化研究」と題して、印南敏秀氏（愛知大学教授）らによる活発な議論が行われました。（左下写真）周防大島文化交流センターの所蔵する宮本常一写真をはじめ、写真資料をもとにした研究の方法が提示され、また研究に住民が参加することで地域文化の再発見につながるなどの指摘がありました。

田村善次郎氏（武蔵野美術大学名誉教授）は、「写真一枚一枚について、みんなが一緒になって情報を読みとっていくことが必要になる」と述べられました。

シンポジウムには町の内外から146名の方が参加され、パネリストの議論に熱心に聞き入っていました。

